

平成30年度自己評価結果公表シート

学校法人 四葉学園

四葉幼稚園

1. 本園の教育目標

人間形成の土台となる幼児期に、キリスト教教育を基盤にして一人一人の子どもの個性を尊重しながらその個性を伸ばし、子どもの心身の成長・発達を促し、とりわけ心の教育・精神教育を重視している。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

新制度発足後、さらなる幼稚園教育の充実を図る為、保護者のニーズをより細かく確認しながら、幼稚園の役割を教職員全体で把握し幼稚園でしか出来ない教育を追求する。保育所・認定こども園との明確な差別化を探究する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育内容を見直し、変更・改革に取り組む。	新幼稚園教育要領に基づき、教師全員の共通理解を深め、時代に見合った教育内容の取り組み・努力を図った。
保護者のニーズを理解し、保護者への対応に努力する。	保護者とよりきめ細かな話ができる様に懇談会等の充実、日常保育において保護者の理解や満足を得られる様に、教師全体での話し合いを進めている。
教師自身の成長の為の研修の参加充実。	自園だけではなく、教師自身が自分を見つめる機会を得て成長する為に、他園及び園外の研修に積極的に参加して保育の知識や技術を学び、習得に努めている。
現段階における幼稚園の状況を的確に受け止め、今後の目標を新たに策定する。	保育園や認定こども園の増加に伴い、幼稚園の位置付けをいかに个性的かつ進歩的な教育が提供出来るか、今後の課題を熟考している。
安全に配慮した環境づくり（施設の改善）	耐震診断及び耐震補強工事を完了しているので、各建物はもちろんのこと、園庭の環境整備、定期的な遊具の点検・清掃・消毒を実施している。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教職員各々が各自の仕事に責任を持ち、本園の教育理念を理解すると共に、常に話し合いの場を持ちさらなる教育・保育の充実を図る努力をした。

また、自園の教育を理解し、実践していけるよう、取り組み状況を話し合うことで、より高度な教育を提供することが出来るように、教諭1人1人が積極的に仕事を覚え、取り組むようになっている。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
各年齢児における日常保育のさらなる充実	教育・保育の内容を丁寧に分析し、新しいものと古いものとの融合を実践する。幼児教育の基本に立ち返り、より高度な内容を考慮する。
安全管理マニュアルに基づく防災・防犯体制の確立	各自が園内の避難経路や役割分担を自覚して、安全に対する意識の向上に努める。所轄の消防署から消防士を招き、避難訓練及び防災（地震）訓練の各学期毎の実施。 自園の地震・災害・防災マニュアルの作成。

6、学校関係者の評価

特に指摘すべき点はなく、妥当であると認められる。早朝保育の継続、通常預かり保育の時間延長・長期休暇預かり保育の実施 等、保護者のニーズに答えると共に園児に対する有意義な保育を進めている。又、プレスクール(2歳児親子教室)の拡大と充実を図り平成28年度より始めたナースリー（満1歳児親子教室）をより認知・拡大できるように宣伝活動に努力している。

現在の社会情勢において倫理的・道義的に高度な教育がなされている。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されている。